

ラインコンバータ Line Converter 取扱説明書

DT-LC-485L



株式会社データ・テクノ

京都市下京区西七条東御前田町48番地

URL: <http://www.datatecno.co.jp/>

〒600-8898 TEL:(075)313-3275 FAX:(075)314-0576

本取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
最新の情報は、弊社ホームページでご確認ください。

目次

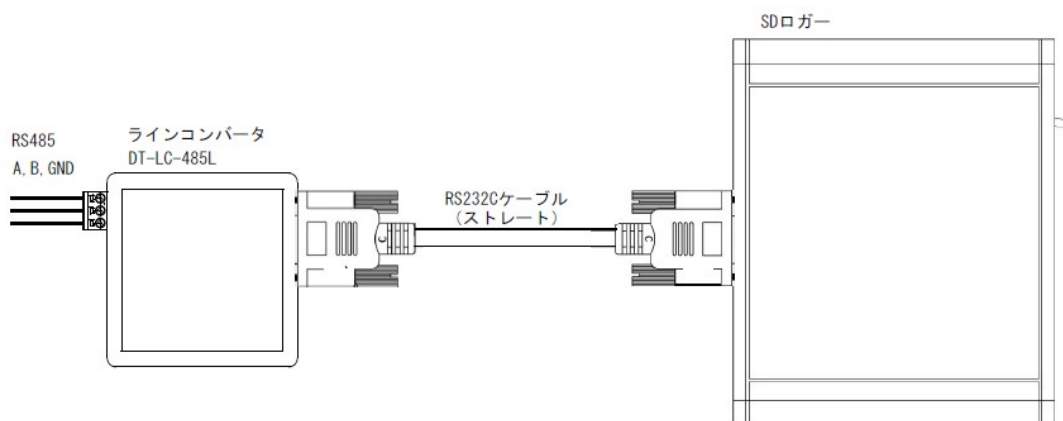
I 概要	3
1. 製品概要	3
II 各部の名称.....	4
1. 各部の名称.....	4
III 設定切替	5
1. ディップスイッチ切り替え	5
IV 接続	5
1. ホスト通信	5
2. 電源	6
V 仕様・外観	6
1. 仕様表.....	6
2. 外観寸法図.....	7
VI 注意事項・その他	8
1. 保証規定	8
2. センドバック修理.....	8
3. 修理費用	8
4. 免責事項	8

I 概要

1. 製品概要

ラインコンバータは、RS-485入力を、RS-232Cシリアル通信に変換するアダプターです。

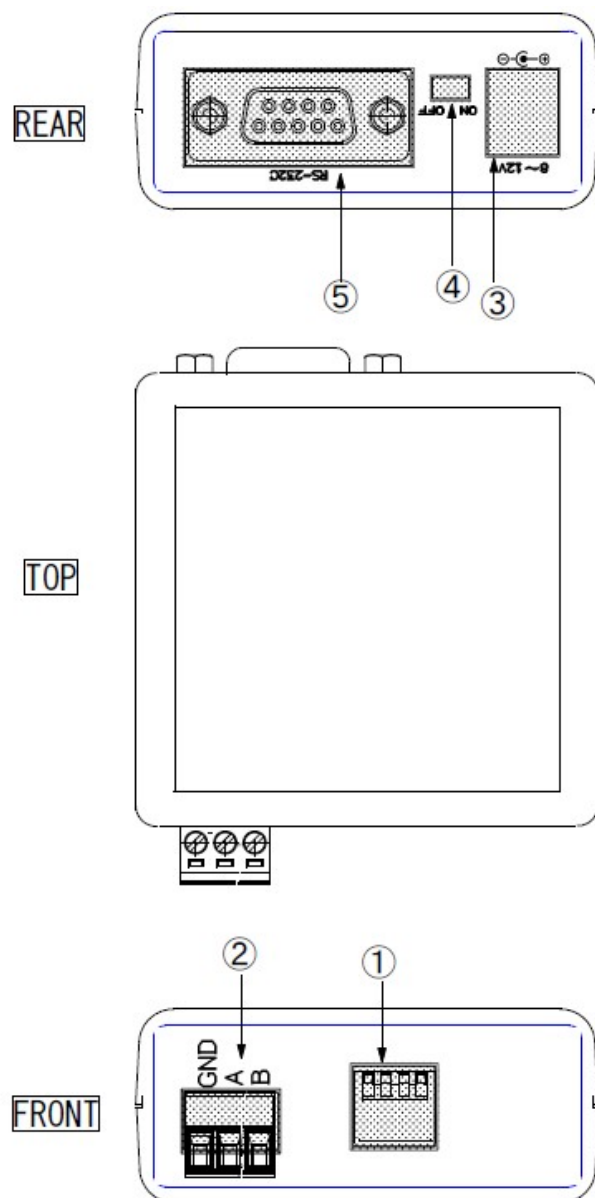
付属ケーブルで弊社SDロガーと接続することにより、RS-485入力を、SDカードに記録(ロギング)することが出来ます。



SDロガー以外にも、パソコンやその他の装置に、シリアル通信として送り込むことが出来ます。(CTS信号の制御が必要です)

II 各部の名称

1. 各部の名称



番号	記号	内容
①		設定用ディップスイッチ
②		RS-485 コネクター
③	8~12V	DC 電源コネクター (DC ジャック)
④		電源スイッチ
⑤	RS-232C	RS-232C コネクター (D-Sub 9ピン メス)

Ⅲ 設定切替

1. ディップスイッチ切り替え

1	ON	RS485 ターミネーター有効
	OFF	RS485 ターミネーター無効
2	ON	RS485 A(TXD/RXD+)プルアップ有効
	OFF	RS485 A(TXD/RXD+)プルアップ無効
3	ON	RS485 B(TXD/RXD-)プルダウン有効
	OFF	RS485 B(TXD/RXD-)プルダウン無効
4	ON	ループバック禁止
	OFF	ループバック許可

Ⅳ 接続

1. ホスト通信

SD ロガー4とストレートケーブルで接続してください。

9番ピンから、電源供給を受けることができます。

DSub9ピン、メスコネクターです。コネクター固定ネジは、2.6φインチネジです。

ピン番号	名称	内容	信号の方向
1	NC	未接続	—
2	TXD	本機からの送信データ	出力
3	RXD	本機への受信データ	入力
4	DTR	本機内部で、6番ピンと接続	—
5	GND	グラウンド	—
6	DSR	本機内部で、4番ピンと接続	—
7	CTS	ローレベルの場合に、RS485 側は入力モードになります。 ハイレベルの場合に RS485 側は出力モードになります。	入力
8	RTS	未使用	—
9		電源受給	電源入力

2. 電源

電源は、電源コネクタ、またはDSub9ピンコネクタの9番ピンから受けることが出来ません。

それぞれに電源が供給された場合は、電圧差によって何れか(ざっくりとは電圧の高い方)から供給を受けます。

電源は安定化されたDC8V～12V、電流容量300mA以上を供給してください。

SDロガーから電源供給を受ける場合は、ロガーの、DSub9ピンコネクタの9番ピンに電源を供給するように設定してください。

詳しくはSDロガーの取扱説明書をご覧ください。

電源コネクタの適合DCプラグは内径φ2.1、外形φ5.5、センタープラスです。

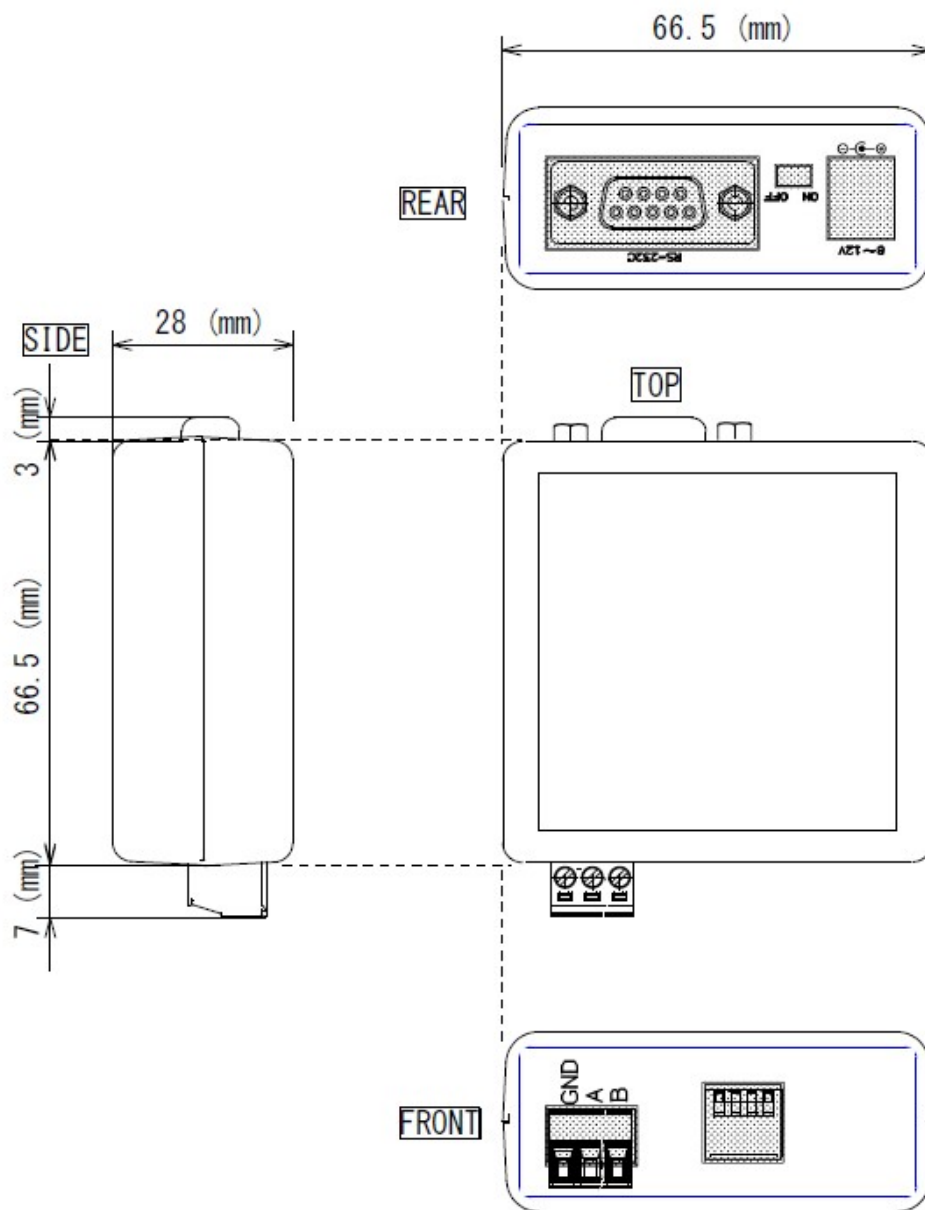


V 仕様・外観

1. 仕様表

項目	内容	備考
製品名	ラインコンバータ	
機種名	DT-LC485L	
通信	RS-232C(対SDロガー通信)	
ビットレート	最大 230400	[bps]
(電源)		
電源	DC 8V～12V	
消費電流	最大 150mA	
(その他)		
使用温度範囲	0℃～60℃(結露なきこと)	
外形寸法	66.5mm×28mm×66.5mm	(突出部は除く)
重さ	約 67g(付属品除く)	
付属品	1.RS232C 9ピンストレートケーブル 2.SDロガー電源設定用ジャンパーピン 3.ACアダプタ(AC100V～240V 50/60Hz) 出力 9V1.3A	

2. 外観寸法図



VI 注意事項・その他

1. 保証規定

保証期間は、納入後1年間とします。

本製品を、正しいご使用状態のもとで万一装置が故障した場合、本保証規定に従って無償修理いたします。

ただし、つぎのような場合は、保証期間内でも、有償修理となります。

- (1) ご使用上の誤りによるもの。(2) 誤接続によるもの。
- (3) 間違った電源供給によるもの。
- (4) お客様自身による改造や、修理が施されているもの。
- (5) 火災、地震、風水害、落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)などによるもの。
- (6) 消耗によるもの。(7) 落下等によるもの。(8) 外力により損傷したもの。
- (9) 海外でのご使用によるもの。

2. センドバック修理

修理はすべて、直送で対応いたします。故障した製品を弊社へ直送いただき、修理後お客様のもとへ、直送で返却いたします。

送料は、弊社への送付時にはお客様のご負担で、弊社からお客様への返却時には、弊社負担とさせていただきます。

3. 修理費用

修理費用は、弊社の判断で、見積りを出させていただく場合があります。

4. 免責事項

弊社では信頼性の向上に努めておりますが、本製品の使用に基づく損害等について、全ての責任を負えるものではありません。

本製品は、高信頼性用途へのご使用は、意図されておりません。

本製品は日本国内向け仕様であり、海外でのご使用については、一切責任を負えません。